

N I P P O

全国事業所・工場で CO₂フリー電力化

NIPPOは1日までに全国の事業所とグループ合材工場216カ所で使用する電力を二酸化炭素排出量ゼロ(CO₂フリー)の電力に切り替えた。2021年10月の本社ビル(東京都中央区京橋)を皮切りに国内の対象事業所でもCO₂フリー電力への切り替えを

順次進めてきた。

年内にはすべての対象事業所(279カ所)で切り替えを完了する。CO₂の排出削減量は約5・9万トになる見通しだ。20年度の同社全事業所とグループ会社の工場で使用した電力と消費燃料から換算したCO₂排出量は年間27・5万ト。削減量は全体の21%を占める。

同社は工場を対象に重油から都市ガスへの燃料転換や高効率バーナーの導入などを継続し、50年のカーボンニュートラル実現に向けて取り組んでいく。



脱炭素化へ取り組み加速(筑波合材工場、NIPPO提供)

CO₂フリー電力導入

対象事業所279カ所切替

NIPPO

NIPPOは、1日までに全国の事業所とグループ合材工場216カ所で使用する電力を二酸化炭素排出量ゼロ(CO₂フリー)の電力に切り替えた。

同社は、2021年10月の

東京都中央区の本社ビルを皮切りに、国内の対象事業所でもCO₂フリー電力への切り替えを順次進めてきた。年内には、残る対象事業所63カ所の切り替えを行い、対象事業所279カ所の切り替えを完了する。

これにより、CO₂の排出削減量は約5・9万トになる見通し。20年度の同社全事業所とグループ会社の工場で使用した電力と消費燃料から換算したCO₂排出量は年間27・5万トで、削減量は全体の21%を占める。

同社は、工場を対象とした重油から都市ガスへの燃料転換や高効率バーナーの導入などを継続し、50年のカーボンニュートラル実現に向けて取り組みを進める。



対象事業所のNIPPO筑波合材工場